

まえがき

本書は、平成13年12月4日と5日の両日、広島大学東千田キャンパスにおいて『歴史的な大転換の時代を迎え、中国・四国地域経済のこれからを考える』をテーマに開催した第14回研究集会の報告書です。これまでの研究集会と同様に、広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター、地域経済研究推進協議会、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック、中国地方シンクタンク協議会の四者の共催により実施しました。このたびの研究集会は、過去10年以上の間にますます経済景気の低迷を深める日本経済の状況を踏まえつつ、経済・社会構造と行財政制度の抜本的改革のあり方を中国・四国の地域から考え、この地域から積極的な情報発信を行うことをねらいとして開催されました。

研究集会は2日間にわたって実施され、初日には上記の共通テーマのもとで基調講演とパネル討論会を開催し、二日目には、中国・四国地域を代表するシンクタンクの研究員の方々に、地域経済に関連した研究報告をしていただきました。

まず、基調講演には、鳥根県立大学総合政策部の三本松進教授をお迎えし、「イノベーション志向型の地域産業社会の構築—21世紀の地域の産学官の連携の方向—」の題目のもとで、これまでのご本人の経済産業省経済産業研究所、アジア経済研究所、経済企画庁、ジェトロなどにおける実務経験や研究成果を踏まえ、幅広いお話をいただきました。また、その後、基調講演における問題提起等を受けて、日頃より地元の地域経済の改革に関して積極的な研究や提言を行っておられる4名の研究者にご登壇いただき、活発な討論が展開されました。これらの内容は、本報告書の前半部にまとめており、本研究集会で設定した共通テーマを掘り下げていただき、含蓄ある提言を多々、いただいたと考えております。

2日目の研究報告においては、共催団体である2つのシンクタンク協議会が中心となって報告者の選定・調整を行っていただき、すべてで7件のご報告をいただきました。その内容は、本報告書の後半に掲載しています。全体は3つの部に分けられ、各部の座長には、地域経済システム研究センターの研究員・客員研究員が担当し、さらに7件のご報告に対して、同センターの研究員・客員研究員を中心として、討論者として質疑・意見交換を担当いただきました。今回の研究報告の中では、中国地域からは岡山県、山口県、島根県、広島県（2件）、四国地域からは香川県、愛媛県から、各地域において重要な地域経済問題に対する研究成果を報告いただきました。最後に3つの部の座長担当の3先生に適切かつ建設的な座長講評をいただきました。

最後になりましたが、当日の研究集会には各地域、各方面から多数のご参加をいただき、おかげで大変有意義な成果をあげることができました。ここで厚くお礼申し上げます。また、本報告書を作成するにあたり、多くのセンター関係スタッフにお世話になりました。これらの方々のご協力に対しても、お礼申し上げます。

平成14年6月

広島大学経済学部教授
同附属地域経済システム研究センター長 戸田 常 一